

自律・協働・参画



笹塚中だより

渋谷区立 笹塚 中学校（令和2年11月11日発行）

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/sasadukaj>



コロナ時代の「新しい学校生活」の創造

校長 駒崎 彰一

運動会を終えて日常の学校生活が戻ってきました。新型コロナウイルス感染症の下での運動会を通して、全員が集い、1つの目標に向かって試行錯誤し、新しいコトを創り出すという大切さを実感しました。改めて、顔をあわせ同じ時間・同じ場所を共有しながら「学ぶこと」がいかに大切かを気づかせてくれました。

しかし、まだまだ世界的に感染症が広がりつつあり、活動を制限していかなくてはなりません。

ただ、このウィズコロナ・ポストコロナの時代に「学校で学ぶ」ということは、ポジティブな面もあります。前例にとらわれることなく皆さんの創造力を発揮するチャンスだと捉えています。是非、今回の運動会のように笹塚中の「新しい学校生活」のモデルを創っていきましょう。

人類は昔から感染症の脅威と闘ってきた歴史があります。スペイン風邪など病原性ウイルスの「パンデミック」は何度も起きています。多くの感染者と死者があり、長い年月をかけて収束するという歴史を繰り返してきました。ウイルスは生物と無生物の境界ともいべき特殊な存在であると言われています。宿主の細胞に入り込み、その細胞の内部構造を利用して遺伝子をコピーし増殖します。自分だけでは存在し続けることができない生き物です。コピーを繰り返す中で、多くの変異が起こり、感染の能力に優れたものが残り、さらに増殖していくという特徴を持っています。今回の新型コロナウイルスも最初の発見から6ヶ月で100を超える変異体が報告されているそうです。絶えず変異を起こすため、ワクチンができてでも有効でなくなる可能性があり、大変厄介であるといわれています。今、世界各地の医療機関や研究施設で、患者さんの治療を行いながら、有効な治療薬やワクチンの開発を懸命に行っています。しかし、以前のように人々が自由に集まり交流できる生活を取り戻すには、数年はかかる可能性が言われてきています。この状況に我々も覚悟が必要です。

このようなことから、しばらく続くと考えられるウィズコロナの学校生活において、「新型コロナウイルス」を正しく理解するということが一層重要になってきます。

新型コロナウイルスは、過去に確認されたコロナウイルス感染症であるSARSやMERSと同じく、重症となる確率が個人によって大きく異なります。感染者の70%から80%が軽症あるいは無症状で治るといわれています。しかし、5%から10%は死に至るほど急激に重症化するということです。そして、「言葉」による「対面でのコミュニケーション」が感染に強く関わるという、際だった特徴を持っています。「会話による飛沫感染」が感染原因になるということを理解しておく必要があります。この軽症や無症状の感染者の多さと、会話といった「対面でのコミュニケーション」によって感染が広がるという、二つの要素が新型コロナ対策の「新しさ」であり「難しさ」の本質であるということが確認されています。つまり、症状が出る前から感染させるという特徴があり、日々の活動において、それぞれが自分の感染を予防するだけでなく、周りの人に配慮した行動が取れるかどうか、ウィズコロナの「新しい学校生活」を創っていくうえで大変重要です。

正しい理解、そして根拠に基づいた正しい行動が新型コロナウイルス感染症を乗り越え、ウィズコロナ・ポストコロナのより良い笹塚中の「新しい学校生活」を創ることにつながると思います。

「One Team」力を合わせて、笹塚中の「新しい学校生活」を創造していきましょう！

第72回 運動会



笹中変身 HEARTを大切に



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながらの開催となりましたが、さまざまな課題に対して生徒が主体となって取り組み、試行錯誤しながら創り上げた運動会となりました。全校生徒が揃った今年度初めての行事となり、3年生の雄姿に新たな目標を抱いた1、2年生も多かったように思います。学年を問わず応援する姿もとても温かく感じました。今回は入場制限をさせていただきましたが、保護者の皆様のご理解・ご協力には、いつもながら感謝申し上げます。

新型タブレットPC大活躍

本格活用の「スタートダッシュ」

〈後期始業式〉

後期がスタートし、オンラインでの始業式を実施しました。各学年の代表生徒が後期の抱負や決意を述べましたが、原稿もタブレットを活用する（ペーパーレス）など、生徒のタブレット活用も日に日に発展し続けています。



遠隔で各クラスに配信(後期始業式)

〈ソーシャルディスタンスで協働学習〉

コロナ対策を踏まえてWEB会議システムを活用し、グループ学習を実践しています。これからの社会における新たな課題に対して、多様な人たちと解決していく力が求められています。放課後の家庭学習や非常事態においても遠隔で協働学習が実現できると考えています。



ヘッドセットで会話もスムーズ(社会科)

11月は渋谷区和食給食月間です。 栄養士：上松千春



皆さんは、日本の食料自給率をご存じですか？令和元年度のカロリーベースの食料自給率は38%だそうです。他国と比較すると決して高いとはいえない数値です。その中で、米は自給率100%の日本人が誇るべき食材です。消費者の私たちができることのひとつに、地元でとれた物を食生活に取り入れ、ご飯を食べる機会を増やすなどがあります。渋谷区は週4日の米飯給食を基本とし、可能なかぎり国産の食材を使用しています。また、先日2年生が収穫したお米を調布農園から寄付していただきました。このお米は11月5日(木)と10日(火)の給食で使用させていただきました。

「和食」は「日本人の伝統的な食文化」として、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。渋谷区は昨年度に続き、11月と2月に計8日間、渋谷区統一の和食献立を実施します。11月は昨年度和食料理人の方々から提供を受けたレシピを使用し、2月は新メニューを取り入れるため渋谷区栄養士会で準備を進めています。これからも和食を学校給食に積極的に取り入れ、世界に誇る食文化を子どもたちに継承していきたいと思っております。



生徒表彰

- 渋谷区薬物乱用防止標語コンクール●
【佳作】 松川 千恵
 - 渋谷区明るい選挙啓発ポスターコンクール●
【入選】 大堂 詩乃
【佳作】 永田 希
 - 渋谷区中学生の「税についての作文」●
【公益社団法人渋谷法人会会長賞】 小比賀りり
【渋谷納税貯蓄組合連合会 入選】 安藤 里紗
【渋谷納税貯蓄組合連合会 入選】 立岩 大地
 - 「しびや おすすめの本50」2020読書コンクール●
POP部門【銀賞】 大堂 詩乃
- <バドミントン部>
- 渋谷区中学校バドミントン新人大会●
シングルス【優勝】 佐藤ひより
ダブルス【第三位】 桑原真由美、赤坂優月
- <ソフトテニス部>
- 東京都中学校ソフトテニス新人大会●
個人戦【ベスト16】 大竹葉月、苅部智実
・・・東京都ソフトテニス強化選手に選出



5日と10日に調布米をいただきました。



デジタルファクトーク(図書委員会)

11月の生活目標

笑顔であいさつ

学校内外を問わず、明るく元気よくあいさつをしよう。

11月の安全目標

交通安全の大切さを理解する。車の近くや路上遊びの危険を知る。

11月・12月の主な行事予定

11月			12月		
日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	日		1	火	三者面談
2	月	全校朝礼 安全指導 専門委員会	2	水	三者面談
3	火	文化の日	3	木	三者面談
4	水	午前授業	4	金	
5	木		5	土	
6	金		6	日	
7	土	くみんの広場（オンライン開催）	7	月	全校朝礼 安全指導
8	日	くみんの広場（オンライン開催）	8	火	
9	月	生徒朝礼 後期認証式 VR授業	9	水	
10	火		10	木	歯科指導(1年)
11	水	後期中間考査(3年)	11	金	校外学習(1年)(2年)
12	木	後期中間考査	12	土	
13	金	後期中間考査	13	日	
14	土	土曜日授業	14	月	
15	日		15	火	
16	月		16	水	専門委員会
17	火		17	木	
18	水	専門委員会 避難訓練	18	金	パラリンピック教育授業
19	木		19	土	
20	金		20	日	
21	土		21	月	生徒朝礼 QUテスト
22	日		22	火	避難訓練
23	月	勤労感謝の日	23	水	
24	火	校内挨拶キャンペーン始	24	木	
25	水		25	金	全校集会 一斉清掃 給食(終) プログラミング教室
26	木		26	土	冬期休業日(始)
27	金	校内挨拶キャンペーン終 DRONE授業 生徒総会	27	日	
28	土		28	月	
29	日		29	火	
30	月	三者面談	30	水	
三者面談よろしくお願いたします。			31	木	

※行事予定は変更になる場合がございますので、本校ホームページでご確認ください。